

私の思い出



白馬町 太田 量三
(元日本軍 衛生伍長)

昭和16年11月20日金沢陸軍病院入隊の召集令状が来ました。(この年12月8日真珠湾攻撃) 当時は軍事機密で見送りを受けることもなく四谷駅を19日の朝一番列車で松本・長野廻りで夕方ようやく金沢に到着しました。金沢で本科教育や、各地で衛生教育を受けたり、病院勤務をしたりして1年で選抜のうえ、上等兵となり新入隊兵の教育をしました。

18年1月21日広島宇品港に廻り輸送船団を組み、人力で食糧資材等を積み込みました。輸送船は、私の乗船した辰羽丸他に暁天丸・新京丸、護衛艦は、駆逐艦藤波と海防艦天草と蔵間。他に海軍の物資を積

んだ船2隻の計8隻で宇品港を1月30日出港しました。瀬戸内海は波静かで星空を見ながら、又いつの日か内地に帰ることが出来るのかと思う内に、船は熊野灘に出ました。この時いきなり敵の魚雷攻撃を受けました。敵は日本の要所々々を潜水艦で塞いでいたのです。我方も爆雷で応戦し敵を追い払いました。

その後一旦別れ別々の港に入った。私の乗船した辰羽丸は千葉の館山港に入りました。翌々日出港し伊豆沖で再び船団を組み南へと向かいます。日本近海は波が荒く船酔いで大変でした。食事をとることも出来ず、積んであった大根に味噌をつけて食べました。

2月17日午前1時頃サイパンの先で暁天丸が敵の魚雷2発を受けました。この為新京丸と駆逐艦藤波が救助に向かい、夜明けを待って救助。辰羽丸は燃料が少ない為に、海防艦2隻と海軍物資を積んだ2

隻でトラック諸島に向かいました。

ところがトラック諸島は、敵の機動部隊艦載機延べ800機の猛攻を受け、午後1時頃我が辰羽丸には、3機来襲その内の1発が当たり、船倉に積んであったダイナマイトに引火、船は7分で大爆発しました。船員は駄目だ駄目だと言いながら船から飛び降りて行きました。

兵士は、退船命令が出ないと退船出来ないため大勢まだ船に残っていました。船はもう2つに折れて居たため、私も30米位の高いところから飛び降りました。その時船尾に積んであった野砲が何かが私の頭に当たりました。鉄兜を被っていたから良かったです。私も船諸共に海中に引き込まれ、息も出来ずに海水を飲み、この時上を見ると少し明るく見えたので是は助かると思ひ、手足をばたかせて居たら海面に出る事が出来ました。浮上して見ると鼻血は出る、口の中は歯が2枚縦に割れて血が出ている、肩から背中が痛い。幸い浮き袋代わり

に船に積んであった青竹が、何本か流れて来たのでそれに掴まって居ると1枚の救助板が見つかりそこには12名ほど居ました。

その後4時間位海に浮いていた駆逐艦の藤波が救助に来てくれました。ボートを降ろして20名位居る所から救助を始めました。私達の集団にも来てくれて救助を始めてくれました。しかし、ずぶ濡れの人をボートに引き上げるには2人や3人では容易には引き上げられず、私も引き上げられてから一生懸命引き上げを手伝いました。その時「作業止め」の号令。あまり暗くなると今度は駆逐艦藤波自体が敵の魚雷攻撃を受けかねないので「助けてくれ」と言う声が薄暗闇の彼方から聞こえますが、船は止まることなく去っていくのです。

ようやくの思いで、トラック諸島の夏島に上陸する事が出来ました。地獄を通って来た思いです。

白馬村老人クラブ 連合会との懇談会

平成22年11月9日(火)ふれあいセンター2階で、老人クラブ連合会と懇談会を開催しました。ごみ処理施設建設や収集の質問。観光産業低迷の打開策を検討する委員会結成。外国人の不動産投機の心配。村全体にもてなしの心がない。道の駅に地場産コーナーがほしい。岳の湯の活用。高規格道路への質問。老人クラブの減少の問題。地域と児童生徒と関わりをもちイジメを地域でなくす、老人福祉施設充実の意見等、様々な意見や質問が出されました。この要旨を行政側に伝えました。

河津町議会 姉妹都市交流会

平成22年12月6日(月)に河津町長と河津町議会の皆さま10名が白馬村を訪れ、交流会を行いました。河津町は、町長も議会も昨年の選挙で変わられたばかりで、お互いの町や村の現状と問題点を話し合いました。